

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公表番号】特表2009-502289(P2009-502289A)  
【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)  
【年通号数】公開・登録公報2009-004  
【出願番号】特願2008-523472(P2008-523472)  
【国際特許分類】

**A 6 1 F 9/007 (2006.01)**

【FI】

A 6 1 F 9/00 5 0 1

A 6 1 F 9/00 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月23日(2009.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明材料を切開するシステムであって、  
切開から所望の結果を特定する手段と、  
前記切開中に変更すべき透明材料のボリュームを決定する手段と、  
前記切開の原型切開路を識別する手段と、  
前記透明材料の局所解剖学的構造を画定する手段と、  
前記局所解剖学的構造に基づいて前記切開の予想結果を計算する手段と、  
前記予想結果と前記所望の結果との差を最小限にする改良済み切開路を確立するために、  
前記原型切開路を修正する手段と、  
前記改良済み切開路に沿って前記透明材料を切開する手段と、を備えるシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記改良済み切開路が、前記透明材料の切開中に誘起される高次収差を最小にし、前記透明材料の既存の高次収差を矯正する、システム。

【請求項3】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記改良済み切開路が変更すべき透明材料の前記ボリュームの境界を区切り、  
該システムが、  
前記透明材料に窪みを生成するために、透明材料の前記ボリュームを除去する手段と、  
人工器官を前記窪みに挿入する手段を、さらに備える、システム。